

週間漁海況情報 2025年第3号

令和7年1月21日発行

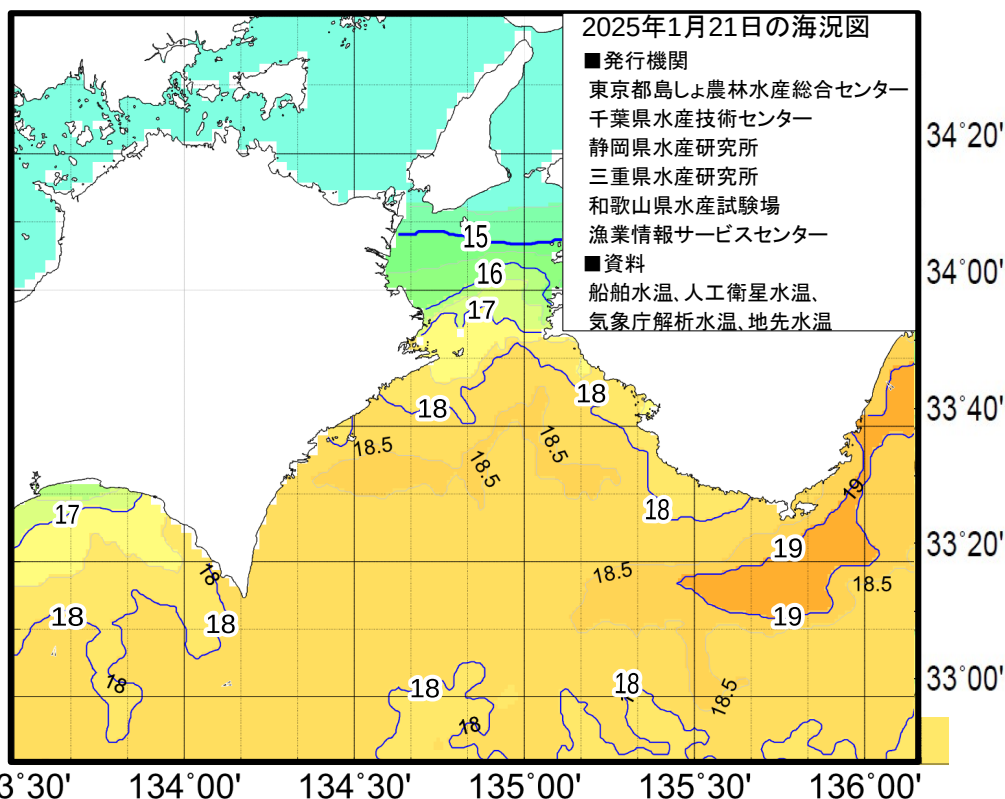
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖60マイル付近、潮岬沖100マイル付近を流れ、室戸岬で「離岸」、潮岬で「著しく離岸」している。

黒潮の表面水温は19～21℃台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘で14、紀伊水道で14～17、海部沿岸で17～18℃台となっている。



※黒潮の離接岸の表現
室戸岬沖 接岸：～25NM やや離岸：25～45NM 離岸：45～65NM 著しく離岸：65NM～
潮岬沖 接岸：～26NM やや離岸：26～56NM 離岸：56～86NM 著しく離岸：86NM～
※図中の破線は黒潮の北縁を示しています(このところ、著しい離岸が続いているため、表示範囲より南の場合が多い)。

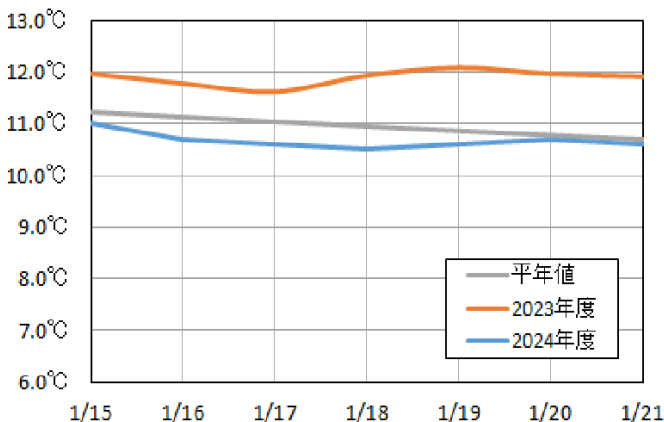
直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

2. 地先水温(1月15日～1月21日)

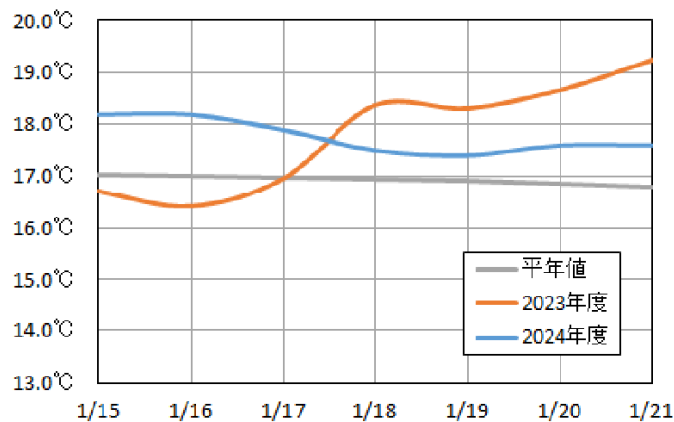
鳴門地区の水温は、10.5～11.0℃で「平年並み」、浅川地区は、17.4～18.2℃で「やや高め」で推移。

鳴門と浅川地区の水温差は、6.8～7.5℃だった。

鳴門地区



浅川地区



※水温の高低 平年並み：平年値±0.5℃未満、やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満、かなり高め/かなり低め：±2.5℃以上

※平年値 1984年～2022年(鳴門)、2018年～2022年(浅川)の平滑平均値(いずれも日平均水温を使用)

3. 週間予報(1月22日～1月28日)

黒潮は、室戸岬沖、潮岬沖とも「離岸」して推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区では「平年並み」、浅川地区では「やや高め」で推移する見込み。

漁況

(1月13日～1月19日)

1. 紀伊水道（標本漁協：4）

延縄では、あまだい類が増えて1.2ト、サワラが大きく減って大主体に0.4ト水揚げされた。
 底びき網では、シリヤケイカが大きく増えて2.3ト、かます類が大きく増えて2.3ト、
 コウイカが大きく増えて大主体に2.2ト、えそ類が増えて1.5ト、
 モンゴウイカが大きく増えて0.9ト、ハモが大きく増えて中主体に0.3ト水揚げされた。
 小型定置網では、マアジが増えて3.4ト、マダイが大きく増えて1.1ト、
 ブリが大きく増えてつばす級主体に1ト、カワハギが0.8ト、ヒラメが大きく増えて0.6ト、
 すずき類が増えて小主体に0.5ト、ボラが大きく増えて大主体に0.4ト、
 メジナが増えて0.4ト水揚げされた。

2. 海部沿岸（標本漁協：4）

釣りでは、カツオが大きく増えて0.4ト、ビンナガが大きく増えて0.4ト、
 ブリが増えてはまち級主体に0.3ト水揚げされた。
 小型定置網では、アオリイカが増えて1.4ト水揚げされた。
 大型定置網では、ヒラソウダが小小主体に0.4ト水揚げされた。

漁獲量集計表（漁獲量が0.25トン以上のものを抜粋）

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	延縄	69	あまだい類	1,194	17		↗
		26	サワラ	447	17	大主体	↘↘
	底びき網	22	シリヤケイカ	2,273	103		↗↗
		28	かます類	2,251	80		↗↗
		31	コウイカ	2,150	69	大主体	↗↗
		32	えそ類	1,522	48		↗
		24	モンゴウイカ	919	38		↗↗
		17	ハモ	346	20	中主体	↗↗
		小型定置網	33	マアジ	3,417	104	
	30		マダイ	1,142	38		↗↗
	26		ブリ	985	38	つばす級主体	↗↗
	36		カワハギ	784	22		→
	33		ヒラメ	584	18		↗↗
	24		すずき類	489	20	小主体	↗
	15		ボラ	384	26	大主体	↗↗
	18		メジナ	364	20		↗
海部沿岸	釣り	31	カツオ	390	13		↗↗
		5	ビンナガ	357	71		↗↗
		23	ブリ	266	12	はまち級主体	↗
	小型定置網	77	アオリイカ	1,419	18		↗
	大型定置網	6	ヒラソウダ	383	64	小小主体	→

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘